

5/25
(木)

50周年を記念しモニュメントを寄贈 松浦ロータリークラブ創立50周年記念碑除幕式



同クラブ（大内理史^{きとし}会長）は創立50周年を記念し、松浦市が今後、日本を代表する水中考古学の聖地となるように願い、その助けになればと『蒙古襲来～甦る元寇船～「いかり」引き揚げ記念碑』を市へ寄贈^{あほう}しました。

記念碑は鷹島の特産品阿翁石^{あほう}を使用し、鷹島石工組合がおよそ3か月かけて制作。（道の駅）松浦海のふるさと館横広場に設置されています。

除幕式には会員や松浦幼稚園園児ら約60人が参加し、大きなモニュメントのお披露目を祝いました。

5/25
(木)

地域の相談役として長年活躍 民生委員・児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰



民生委員・児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰の伝達式がすこやか青プラザで行われ、令和4年度に退任した5人が表彰状を受け取りました。表彰された人は以下のとおりです。（敬称略）

- 20年以上貢献
 - 古舘 智治（調川・江口2）
 - 前田 恵子（今福・坂野）
 - 堤 登志子（今福・人柱）
- 75歳以上、15年以上貢献
 - 川上 郁子（福島・日の浦）森 勇（鷹島・阿翁）

まちの話題

5/31
(水)

全国の舞台で意見を発表 第46回全国消防職員意見発表会



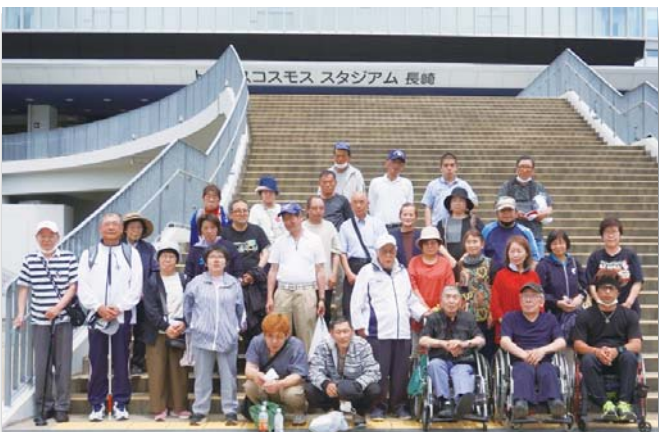
京都市で開催された同発表会で、県、九州大会を勝ち抜き、九州支部代表となった市消防本部の西遼太さんが意見発表を行いました。

この発表会では、県大会、九州大会などの地区大会を経て選抜された10人が意見を発表。西さんは「聞く力で安心を」と題し丁寧に力強く発表し入賞を収めました。

今回の発表を終え西さんは「全国の消防職員のひたむきな思いを生で感じる貴重な経験ができた。全国の職員と共有したこの思いを忘れることなく、日々の業務に向き合いたい」と話しました。

5/28
(日)

スポーツで交流を深める 第23回長崎県障害者スポーツ大会



長崎県立総合運動公園トランスコスモススタジアム長崎を主会場として、同大会が開催されました。

本市からは、短距離走や投てき競技（ソフトボール投げ、ジャベリックスロー）などの陸上競技に18人、卓球競技に1人、フライングディスク競技に2人、ユニカール競技に9人の選手が参加し、それぞれの競技において健闘され、大会を通じて選手同士で交流を深めました。

※外字に関しては、新聞表記とあわせて掲載させていただきます。

6/8
(木)

黄色の傘で安全に！

JANAがさき西海による市内小学1年生への傘贈呈



▲黒川教育長へ傘を贈呈する山本代表理事専務

同組合（田中芳秀代表理事組合長）は、市内小学校1年生158人に、雨が降る日も安全に登校してもらおうと、ドライバーからも目立つ黄色の傘約180本を贈呈しました。

贈呈された傘は、一部に透明なビニールが使用され、傘をさしても前が見えるつくりになっています。

山本代表理事専務は、「傘を使って登校してもらい、少しでも交通事故防止になれば嬉しい」と贈呈にかける思いを話しました。

6/8
(木)

美味しい新茶ができました

JANAがさき西海茶業部会松浦地区部会（井手眞悟部会長）



市役所で新茶の贈呈、試飲が行われました。市内では14戸6工場でお茶が生産されており、嬉野茶として出荷されるほか、工場それぞれでオリジナルのお茶を製造し販売しています。

今年は3月中旬の天気の影響があったものの、気温が緩やかに暖くなったことで、お茶の品質は良好とのことでした。

当日は水出しと急須で新茶が振舞われ、清々しい香りとさわやかな旨味が口いっぱいに広がる最高の仕上がりとなっていました。

6/13
(火)

いもの苗植え通した地域交流

志佐小学校の体験学習活動



志佐小学校が体験学習活動として行っているサツマイモの苗植えが志佐町里地区の畑で行われ、4年生67人が参加しました。

この活動は地域や農業、食への関心を高め、食の大切さや感謝の心を養うため35年以上前から毎年実施されています。

この活動の場となる畑の管理、苗の提供などは老人クラブ「里不老会」が全面的にサポート。苗植え当日は会のメンバー約20人が子どもたちに植える深さや向きを教えながら一緒に苗を植え、地域での交流が深まりました。

6/8
(木)

お手本となる消火活動に感謝状

消防協力者表彰式



調川町上免の火災現場で消火活動を行った吉永寿男さん、奈緒美さん（調川・上免）に市消防本部消防長から感謝状と記念品が渡されました。

火災当時、庭から10m先の墓地にある木が燃え上がっているのを寿男さんが発見。妻の奈緒美さんと協力し、119番通報、水バケツによる初期消火を何度も繰り返すなど延焼拡大を防ぎました。

2人は「いざ炎を目の前にするととても怖かった。日頃の備えが大事だと感じた」と話しました。